第16回

連携医療機関のご紹介

日頃からお世話になっている地域の医療機関をご紹介致します。

くちのつみなとクリニック

住　所：南島原市口之津町甲2146-2

院長　宮﨑　恭子　　電　話：0957-86-4443

明けましておめでとうございます

2025年10月にしおた内科胃腸科医院を承継し、くちのつみなとクリニックとしてスタートしました。

当院の理念は前医院から引き続き「誰でもなんでも相談できるクリニック」です。現在、塩田善之先生、塩田絹代ケアマネージャー、前医院から継続のスタッフに新しいスタッフも加わり、私にも地域の皆様にとっても大変心強いチームになっております。

内科・婦人科・小児科として、風邪などの急性疾患、生活習慣病などの慢性疾患に加え女性の小児期から老年期までの諸症状、がん検診、生後2ヶ月からのワクチン接種などを行っております。また有資格者がおりますので、介護の相談や申請などにも対応できます。

当院で対応できない疾患や専門施設での精査が必要と判断した場合には地域の各医療機関の先生方へ紹介させていただきます。地域の医療の入り口としての役割を担っていきたいと思いますので、これからも「くちのつみなとクリニック」をよろしくお願いいたします。



ジャカランダ　2026年1月VOL.33
発行：公立小浜温泉病院
〒854-0593長崎県雲仙市小浜町マリーナ3番地2　TEL：0957-74-2215（総務課）FAX：0957-74-2526

医療法人社団 苑田会　公立小浜温泉病院

2026年1月発行
Vol.33

ジャカランダ



新年のごあいさつ

皆様 明けましておめでとうございます。

今年は十二支では午年にあたります。意外と縁がないから、午年について少し調べてみました。

十二支はもともと1日24時間の時刻を12で割り、表した指標です。民衆に広く浸透させるために身近な動物を当てはめたと言われています。馬は十二支の7番目の動物にあたります。

馬は古来より、輸送手段や農耕に必要な動物で、健康や豊作などの意味があります。

馬の意として当てはめられた漢字の「午」は、餅をつく道具である、「杵」のつくりにある文字です。

交互に杵をつくことから、午は切り替えまたは交差という意味があります。

そこで1日の前半と後半を分ける言葉に使用され、午前・午後と呼ばれるようになりました。

もともと、子・丑・寅・・・の順番は決まっていたので、午を身近な動物の馬と読ませたと言われています。

今年は長い夏がやっと終わり、秋がきたと思ったら、あっという間に寒い冬がやってきました。

酷暑の年の冬は　寒さが厳しいとのラニーニャ現象に近い状態が続くとの長期天気予報は出ています。

それに伴い、インフルエンザウイルス感染症が早々に流行して来ています。

また、東北ではアーバンベアもしかり、今までの常識では測れない事が起こっています。

医療界では、2024年度に医療・介護改定があり、経営が厳しく、また物価高騰は賃金上昇などで70％前後の医療機関が赤字経営となっています。

私個人としては、昨年は、京都に出張のついでに大阪万博会場を訪れました。

今までの人生で過去の万博には一度も行ったことがなくて、私が生きている間にはもう行けないと思い、時間を作り行ってきました。20万弱の多い人出で、予約をしていなかったこともあり、心臓シートを含め数か所しか見物できませんでした。万博とはこんなもんだとの雰囲気を味わい帰って来ました。

大変でしたが、実はもっと大変な事が別にありましたが、まあ済んだことです。

当院では、昨年に二人の内科医が辞められました。長く訪問診療や循環器医療に貢献して頂き有難うございました。お二人の抜けた穴は大きく、その仕事量をカバーするために残された先生方には少し負担が増えていますが、頑張ってもらっています。

人工透析ベッドの増床、整形外科や脳外科の充実　それと24時間体制での在宅療養支援などにも力を入れています。当面の課題は医療人材不足、医療器械の老朽化、人件費や電気代の高騰、材料費の物価上昇などが経営を圧迫してきています。また、災害発生時の取り組み、予防医学、新興感染症、医療ＤＸなどの取り組みがあります。残りの先生方は大変ですが、働き方改革に触れないように、「働いて、働いて、働いて　働いてそして働いていきましょう」もちろん私も老体に鞭打って働きます。

昨年秋に島原半島の中核病院で地域医療を考える研究会がありましたが、近隣病院やいくつもの施設と連携して、当院は急性期から回復期そして在宅への切れ目のない医療を提供し、かつ在宅医療にも力を入れ、地域医療の灯を消さないように頑張る所存です。

今年も宜しくお願い申し上げます。

院長　井手　　孝

INDEX

01
新年のごあいさつ
院長　井手　　孝

02
ドライブシミュレーター
自動車運転支援

03
NEWS
・令和7年度望年会
・長崎県美術展覧会受賞

04
連携医療機関のご紹介
くちのつみなとクリニック
院長　宮﨑　恭子

NEWS

医療法人社団苑田会　公立小浜温泉病院　老健おばま
令和7年度　望年会　開催

日　時：令和7年12月13日（土）　場　所：雲仙　東園

去る令和7年12月13日に雲仙東園にて望年会が開催されました。
苑田会本部より苑田　輝一郎理事長、菊地　猛事業部長にご出席いただきました。
輝一郎理事長におかれましては、苑田会理事長に就任され初めての望年会へのご出席となりました。
来賓は、金澤雲仙市長、宮﨑南島原副市長、雲仙・南島原保健組合から冨永事務局長、川島参事監、北川参事監にご多忙の中、ご出席いただきました。当院ならびに老健おばまからは163名の職員が出席しました。







例年の望年会と少し指向を変え、当選者100名程の大規模な抽選会を開催しました。不参加の親睦会員や遅出・夜勤者にも当選するように配慮し、残念ながら落選した職員にも、参加賞を贈答するように設定しました。
会場では、多くの親睦会会員が当選し、悲鳴のような歓声が終始聞かれ、参加者の笑顔があふれていました。
そして、見事1等に当選したのは、医事課職員でした。1等景品の55インチのテレビを抱きかかえて、帰りました。
小浜親睦会として、日頃より会員の意見を取り入れつつ、満足頂けるよう運営に勤しんでいければと思います。
今後ともよろしくお願いします。　　小浜親睦会 会長　鬼塚　真悟

県展で受賞しました。



当院、職員が第70回長崎県美術展覧会
「写真部門」で受賞しました。

賞　名：　佐々町長賞
題　名：　「みぃつけた！」
氏　名：　吉田　将人

この度、第70回県展で佐々町長賞を頂き、光栄に思います。
入職したぐらいから（10年前）、写真を趣味で始めました。
最初は風景など撮影していましたが、今は、休日に出掛けた先の景色や子供たちを撮影し、楽しんでいます。
来年も県展で入選・入賞出来たら嬉しいです。
リハビリテーション科　吉田 将人

島原半島唯一
ドライブシミュレーター導入

自動車運転 再開 支援について

車は日常生活を送るうえで欠かせない移動手段の1つです。
特に島原半島は、交通手段の不便さもあり、ご自宅での生活を送るために運転再開を希望される患者さまが多くいらっしゃいます。
また、脳卒中を発症された患者さまは、運転に必要な認知・判断・予測・運転操作に影響を及ぼす可能性があります。運転を続けるためには、公安委員会への申請・許可が推奨されています。
リハビリテーション科では、このような患者さまをサポートするために、**「自動車運転再開支援」**を行っています。
令和7年4月より、島原半島では唯一であるドライビングシミュレーター（Hondaセーフティナビ）を導入し、支援の充実を図っています。







＜対象となる方＞
・脳卒中（運動麻痺、認知機能障害、高次脳機能障害）を発症された方
・運転に不安がある方　（整形疾患の手術後、心疾患、感覚障害など）
※リハビリの算定が可能な入院・外来の患者様が対象

＜運転支援の内容＞
●評価　①身体機能・認知機能・高次脳機能
②SDSA（脳卒中ソライバーのスクリーニング評価）※図1
③ドライビングシミュレーター
④停車車両評価
●診断書作成
医師の診断書作成時に評価結果を情報提供し、公安委員会へ申請します。
●訓練　評価結果をもとに必要な訓練を行います。



※図1









＜ドライビングシミュレーターとは＞
・自動車運転シーンに近い、様々な環境で、ドライビング技術の評価や訓練を行うことが可能です。
・年齢をもとにした、運転技能の評価ができます。
・結果はポイントがわかりやすく表示された資料で確認できます。
・苦手な部分を繰り返して訓練を行います。

地域の方が安全に安心して自動車運転が行えるよう、また、運転が困難と判断された方に対しても生活に欠かせない移動への支援ができように取り組んでいきます。